2024 年 12 月号
FP 武蔵野グループ

資産運用を始めるに当たって読んでおきたい本

1 月から新 NISA が始まりました。想像以上に盛り上がり、国民の投資への関心を一気に高めたようです。年金の不安からでしょうか、特に若年層がつみたて NISA を始めたとの報道も目立ち、ネットでは「つみたて NISA はオルカン※1」とか「Ｓ＆Ｐ５００※2」とかの言葉が飛び交っています。書店でもマネー雑誌には「NISA で 1 億円」とか勇ましい見出しが躍っていますし、書棚には「誰でも分かる NISA」とか「値上がる株の見分け方」などのタイトルの本がずらっと並んでいます。怪しげな本も多いので、今回は、私がこれまで手にした資産運用に関する本の中で皆さんに読んでもらいたい本、オーソドックスにしっかり資産運用について理解を深めていただける本を何冊かご紹介したいと思います。

※1　三菱 UFJ アセットマネジメントが運用する投資信託“eＭＡＸＩＳ Slim 全世界株式（オール・カントリー）”の略称。現在、運用残高約 5 兆円でわが国第 2 位。つみたて NISA の人気商品。

※2　アメリカを代表する株式 500 銘柄で構成される株価指数。このＳ＆Ｐ５００に連動する三菱 UFJ アセットマネジメントが運用する投資信託“eＭＡＸＩＳ Slim 米国株式（Ｓ＆Ｐ５００）”もつみたて NISA の人気商品。運用残高は現在 6 兆 3000 億円でわが国第 1 位。

トップバッターは「**ウォール街のランダム・ウォーカー**第 10 版：バートン・マルキール」です。Amazon の内容紹介には「全世界で読まれている投資のバイブル。1973 年の初版以来、全米累計 150 万部を超え投資の名著として絶賛されるベスト&ロングセラー」とあります。私もこの本を読んでインデックス運用の信奉者になりました。有名な「アクティブファンドは猿がダーツで選んだポートフォリオを運用するのと等しい」という言葉もこの本の中に出て来ます。

次は「**敗者のゲーム**第 8 版：チャールズ・エリス」です。こちらもインデックス運用の重要さを説いたロングセラーです。因みに「敗者のゲーム」とは「プロのテニスでは強いものが勝つがアマチュアのテニスではミスをしたものが負ける」ということだそうです。ウォール街のランダム・ウォーカーと合わせて読むと「なぜインデックス運用なのか」、マネー本に

よくある「今年活躍する銘柄はこれだ！」なんてことはいかにあり得ないかがよく分かります。

少し違った観点からは「**株式投資** 第4版：ジェレミー・シーゲル」はいかがでしょう。原題は”Stocks for the Long Run”。 19世紀からの株式のパフォーマンス、市場関連のイベント、インフレ、株価指数、他の商品との比較等が詳細に分析されています。内容は少し難しいかもしれませんが、なるほど「株式は長期投資」というのが腹落ちします。著者によれば長期投資とは30年以上とのこと。因みに「長期投資」をすればリターンが上がるというファイナンス理論はありません。では、なぜ「投資は長期で」というのか。なるほど 50 年、100年の長期の実績でみると納得です。

インデックス投資はつまらん、個別株投資をしたいという方には「**投資で一番大切な20の教え**：ハワード・マークス」をお薦めします。タイトルは平易ですが、中身は濃いです。著者の投資哲学は「価格より価値、価格が価値より低い資産に投資する」です。私はこの本を読んで「価値」と「価格」違うのだと改めて学びましたが、では、実際どうやって企業の正しい価値を見極めるのか、プロでも難しいのではないかと感じました。ただ、今年8月5日の午後の下げでは多くの企業が価値以上に売られたのではないでしょうか。ですから株というのはこういうときが買いのチャンス、目をつぶって買うものだとつくづく思いましたが、実際にはなかなか出来ませんね。

以上の4冊は、資産運用に関心がある方には手に取って、是非投資に関する正しい見方を身につけていただきたいのですが、投資を始めて間もない方、これから投資を始めようという方には少し難しいかもしれません。

そういう方には最近、書店で目にした「**年1時間で億になる投資の正解**：ニコラ・ベルベ」はいかがでしょう。タイトルはちょっと？ですが、内容は至ってオーソドックス。「ウォール街のランダム・ウォーカー」と「敗者のゲーム」を軽妙な語り口でわかりやすく要約してくれています。この本はカナダでベストセラーになったそうです。

誤解を恐れずに言えば、株式投資ではどんなに財務分析を勉強しても、チャートを勉強しても市場に勝つことは出来ません。メディアには「億り人」の話はよく出てきますが、話半分で聞いておいた方がよいでしょう。市場を前にしては、私たちは無力です。市場に勝つことは諦めて、私たちのような運用の専門家ではない一般投資家は、市場に身を任せたほうがよさそうです。

ＦＰ武蔵野グループ
ＣＦＰ®、CMA
森内 茂樹